

【2022年版】

**ネットショップで物品を購入する際の
決済手段に関する調査**

P4 調査概要

P5 回答者 性別と年代

P6 よく利用する決済手段

P7 よく利用する決済手段 TOP5 過去比較

P8 最も利用する決済手段

P11 最も利用する決済手段の理由

P13 最も利用する決済手段 過去比較

P14 決済手段不足によるサイト離脱率

P15 購入頻度の変化

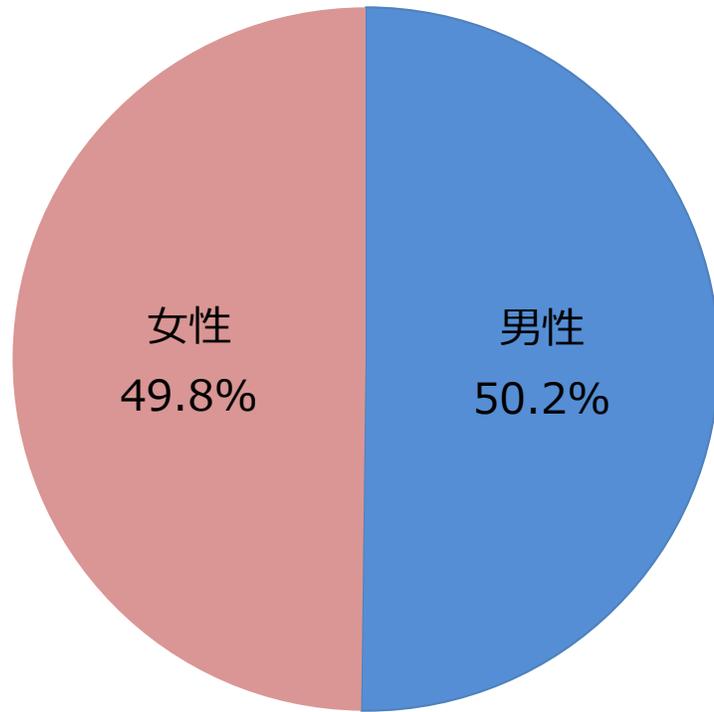
調査概要

調査概要

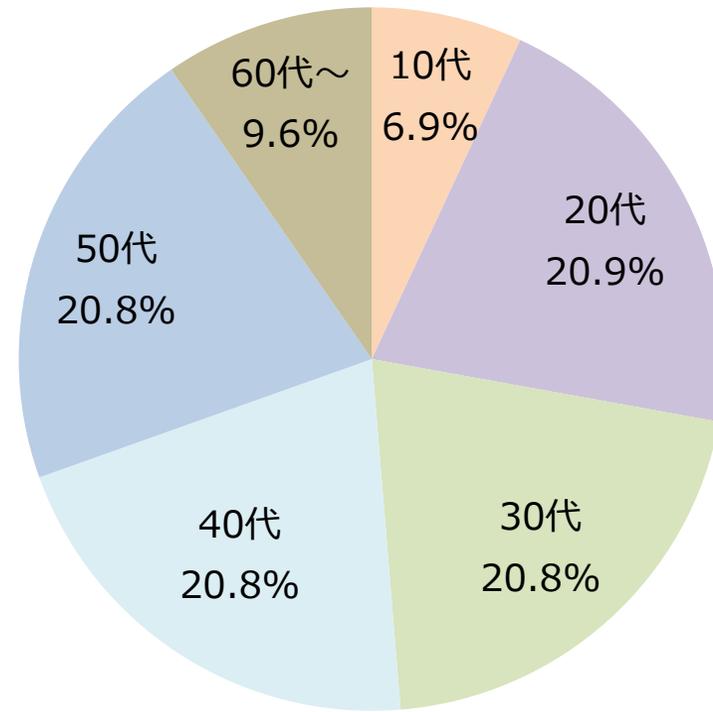
調査内容	ネットショップで物品を購入する際の決済手段
調査対象者	1年以内にネットショップで物品を購入したことのある男女
回答者数	2,528人（男性：1,254人,女性1,274人）
調査方法	インターネットリサーチ
調査期間	2022年2月14日～2022年2月21日
調査元	SBペイメントサービス株式会社

回答者 性別と年代

性別

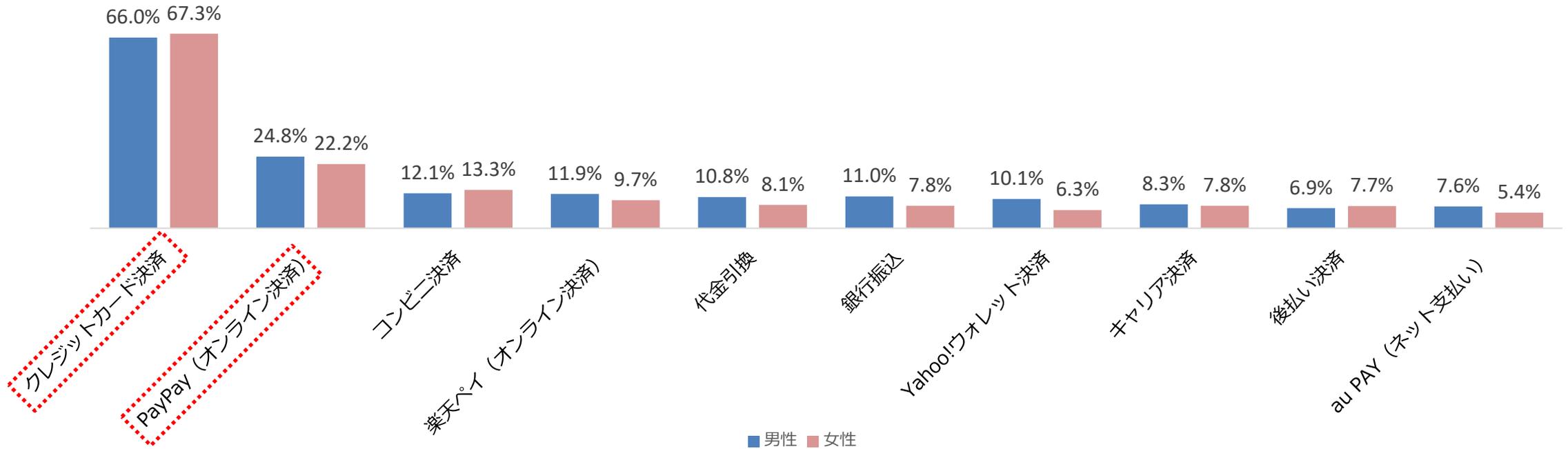


年齢



よく利用する決済手段

ネットショップでよく利用する決済手段としては**クレジットカード決済**が最も多く、次いで**PayPay（オンライン決済）**が多かった。



※10位までの決済手段を表示

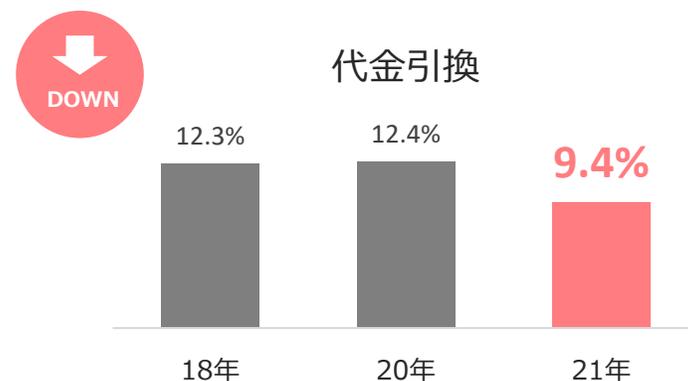
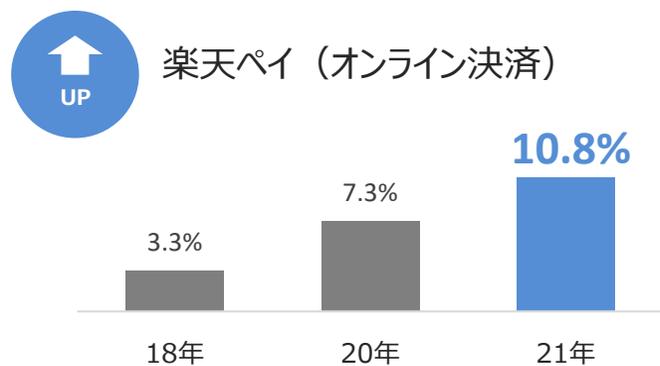
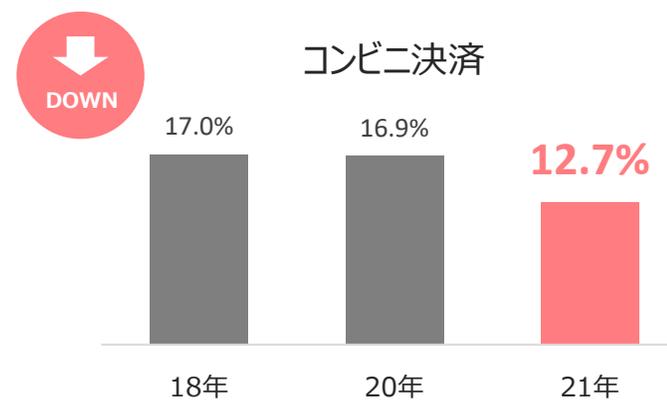
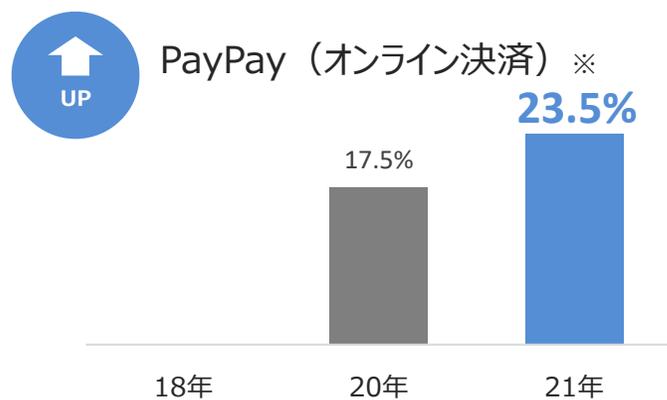
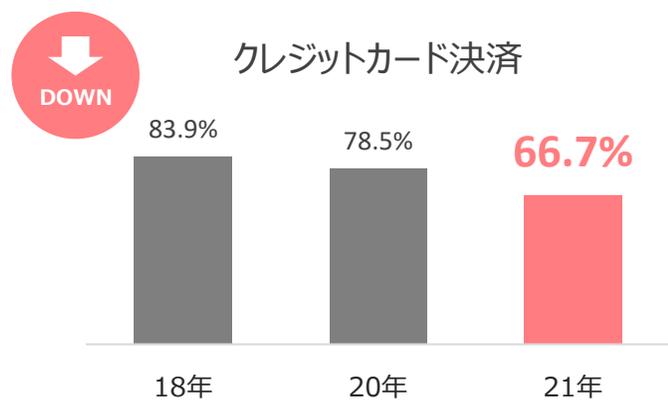
※11位以降の選択肢：口座振替/Yahoo!ウォレット決済/メルペイネット決済/Amazon Pay/プリペイドカード/ペイパル/Apple Pay/Google Pay/Pay-easy（ペイジー）/リクルートかんたん支払い/永久不滅ポイント/銀聯網決済/Alipay決済/WeChat Pay（オンライン）/ネットマイル決済/au PAY（ネット支払い）/LINE Pay/エポスかんたん決済/Tポイントプログラム（オンライン決済）/その他(自由回答)

(複数選択 n=2,528)

よく利用する決済手段 TOP5 過去比較

2018年では80%以上の方がクレジットカード決済を選んでいたが年々低下傾向にある。

一方で実店舗でも拡大しているPayPay（オンライン決済）や楽天ペイ（オンライン決済）の利用者が増加している。

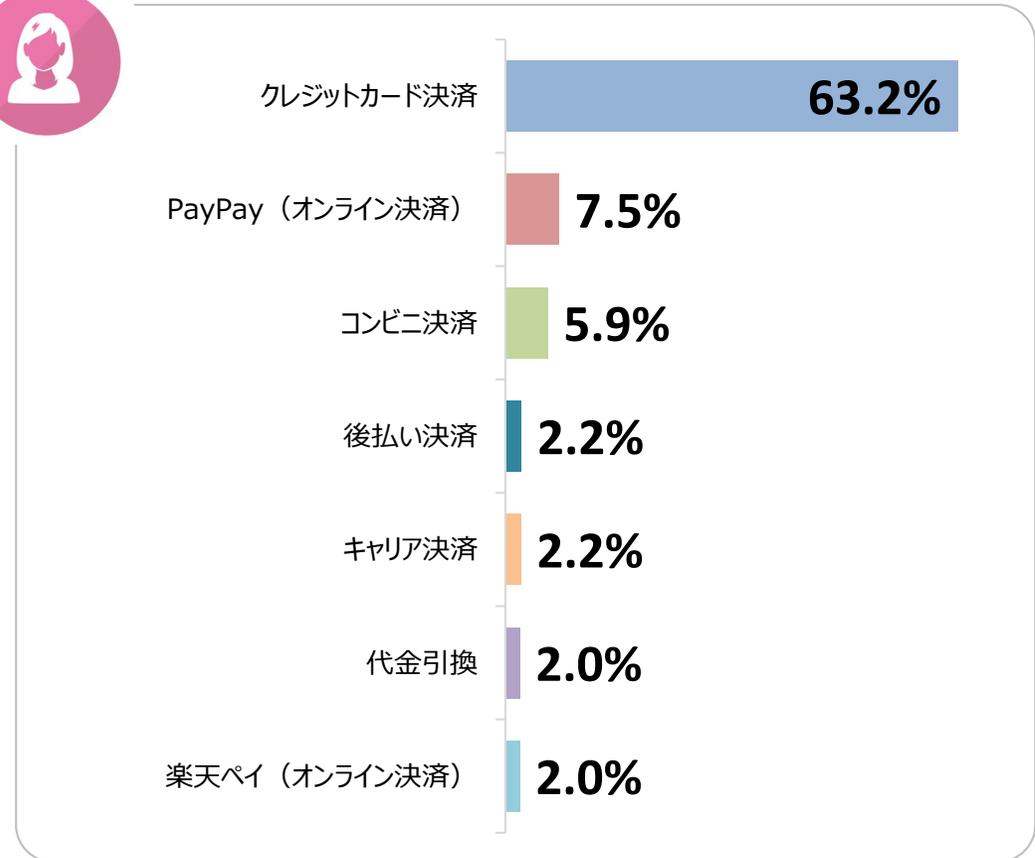
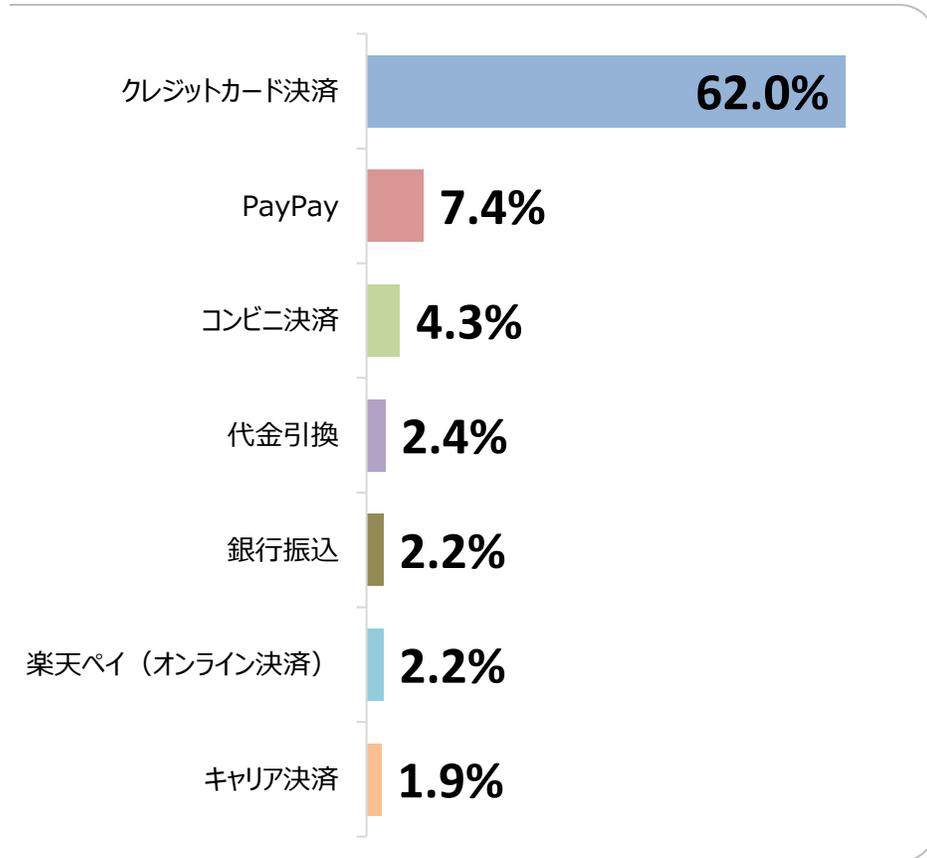


※2018年調査時は選択肢としてなし

(複数選択 2018年:n=1,986 / 2020年:n=2,533 / 2021年:n=2,528)

最も利用する決済手段（性別）

男女共に**クレジットカード決済**が最も利用すると回答し、次いで**PayPay（オンライン決済）**、**コンビニ決済**となった。



※上位6個までの決済手段を表示（同率の場合はすべて表示）

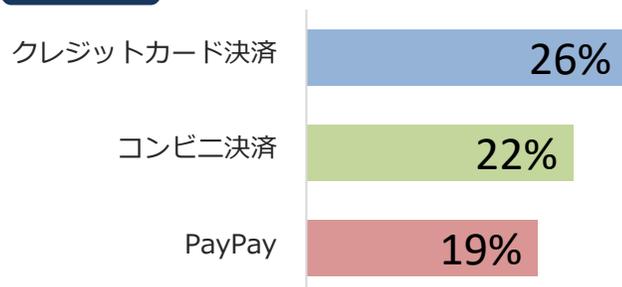
（単一選択 男性:n=1,197 女性:n=1,204）

最も利用する決済手段（男性×年代別）

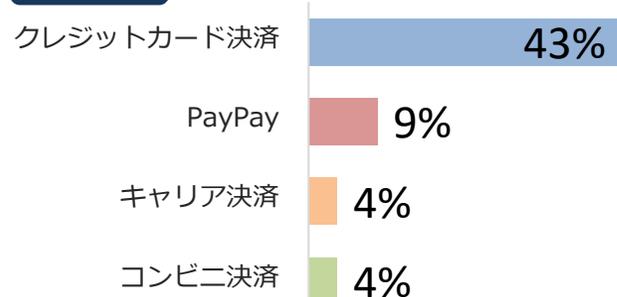


男性10代ではクレジットカード決済の利用割合が**コンビニ決済・PayPay（オンライン決済）**と大差なく、クレジットカード決済以外の決済手段が浸透していることが分かる。一方で年代が上がるごとに**クレジットカード決済の割合が高くなり、他の決済手段があまり選ばれていないことが分かる。**

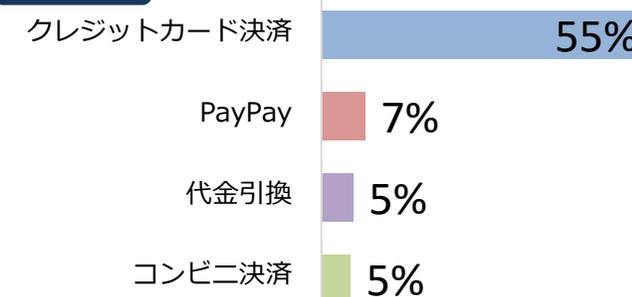
10代



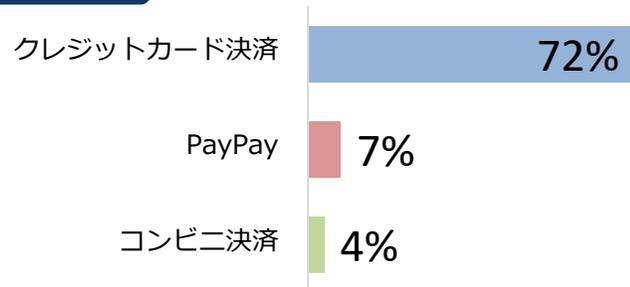
20代



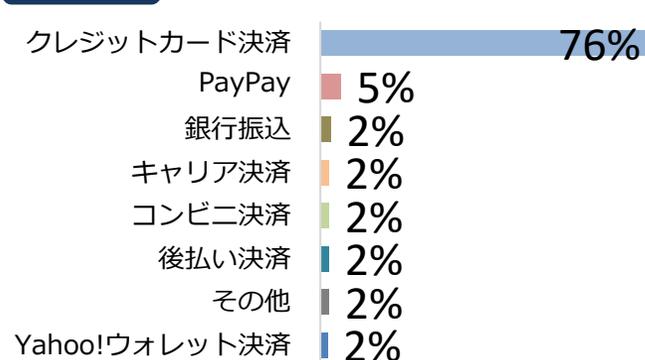
30代



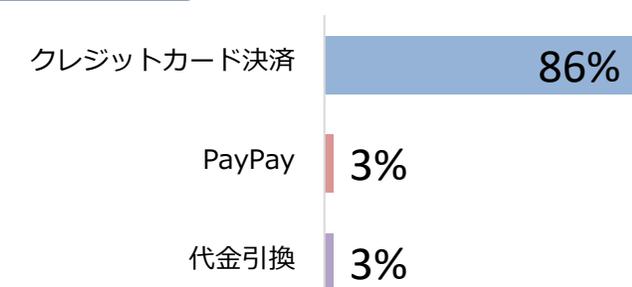
40代



50代



60代~



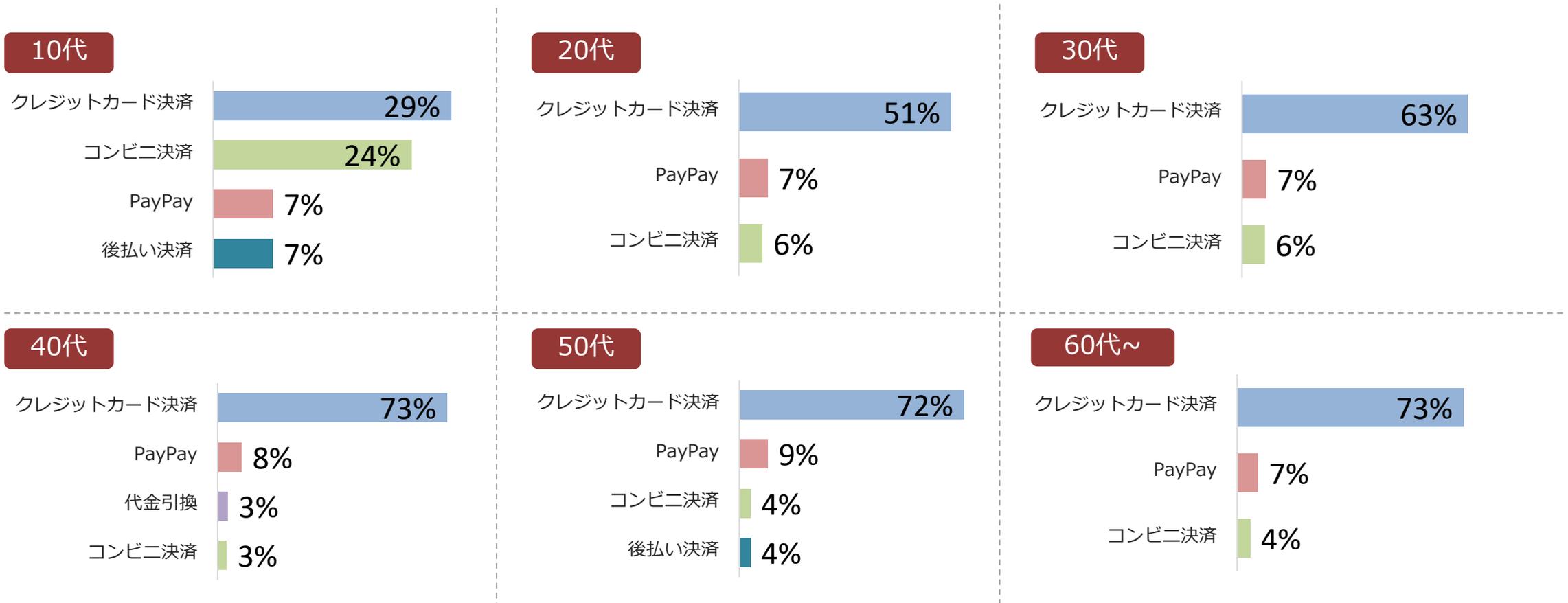
※上位3個までの決済手段を表示（同率の場合はすべて表示）

（単一選択 n=1,197）

最も利用する決済手段（女性×年代別）



女性も男性同様10代はクレジットカード決済以外の決済手段割合が高く、年代が上がるごとにクレジットカード決済割合が上がっている。一方、男性と比べると女性はPayPay（オンライン決済）とコンビニ決済以外にも**後払い決済**を選ぶ傾向にあった。



※上位3個までの決済手段を表示（同率の場合はすべて表示）

（単一選択 n=1,204）

最も利用する決済手段の理由

	クレジットカード決済	PayPay (オンライン決済)	コンビニ決済	代金引換	楽天ペイ (オンライン決済)
男性 	その場で決済が完了できるから (10代)	還元率が高い (10代)	手数料は出るが確実に商品も届くし支払いも完了できるから (20代)	オンライン決済の仕組みがあやふやで分からない為 (20代)	還元率が高いから (10代)
	セキュリティがしっかりしているのと、場合によっては分割払いもできるので (30代)	提携しているショップで買うことがほとんどのため (20代)	利用できる中で最も都合がつけやすいから (30代)	商品が届いてから支払う方が安全、安心だから (40代)	ポイントを集約しているから (40代)
	残高を気にする必要がない (50代)	扱うお店が多いから (40代)	現金払いが一番安心なので (60代)	セキュリティの面からクレカを使いたくない (60代)	楽天モールの利用が多いことに加え、毎回利用報告メールがあるから (60代)
女性 	コンビニ決済のように外に出なくていいことと、ポイントがつくから (20代)	簡単に入金でき、気軽に使えるから (10代)	クレジットカードを持っていないから (10代)	クレカを持っておらず、安心できるから (10代)	使いなれているから (20代)
	他人との接触などが無く家にも買えるから (30代)	キャッシュバックキャンペーンがあるから (40代)	ネット決済では、クレジットカードの情報漏洩が怖いので、利用しない (30代)	コンビニなどが近くになく手間が掛かるから (20代)	楽天ポイントを貯めているから (30代)
	いつも同じ支払い方なので、登録しているからスムーズなので (40代)	カード決済があまり好きではない (50代)	できるだけカードは使いたくないため (50代)	安全で簡単 (60代)	ポイントが付く (50代)

最も利用する決済手段の理由（その他の決済手段）

キャリア決済	銀行振込	後払い決済	au PAY（ネット支払い）	LINE Pay
支払いを纏める事が出来るから（40代・男性）	クレジットカード決済はついつい使ってしまうから（50代・男性）	カード情報を入力するのが面倒だから（30代・男性）	簡単に済むから。限度額がわかりやすいから（40代・男性）	LINEに登録すればだれでも使えるため（10代・男性）
すぐ買えるから（30代・女性）	銀行との取引のある業者である証拠で安心できるから（50代・女性）	給料日後に支払いができて安心だから（30代・女性）	au PAYを使えばお得に購入できるサイトだから（20代・女性）	チャージから支払いまでが素早くできるから（20代・女性）
メルペイネット決済	Amazon Pay	Yahooウォレット決済	ペイパル（PayPal）	プリペイドカード決済
メルカリでの売り上げが直接使えて便利だから（40代・男性）	カード情報を入力しなくて済むから（40代・男性）	支払いができるサイトが多いので（40代・男性）	海外のショップで使えるから（男性・40代）	使いすぎないから（10代・男性）
メルカリを利用しているため（30代・女性）	ギフト券がたくさんあるから（20代・女性）	Yahooショッピングをするから（60代・女性）	セキュリティ面を考慮して（40代・女性）	クレジットカードを持っていないから（10代・女性）

最も利用する決済手段 過去比較

年々男女共にクレジットカード決済の割合が減少している分、他決済手段を利用する人が増加している。2021年ではコンビニ決済に代わり、**PayPay（オンライン決済）**が最も利用する決済手段第2位となった。

2018年



2020年



2021年

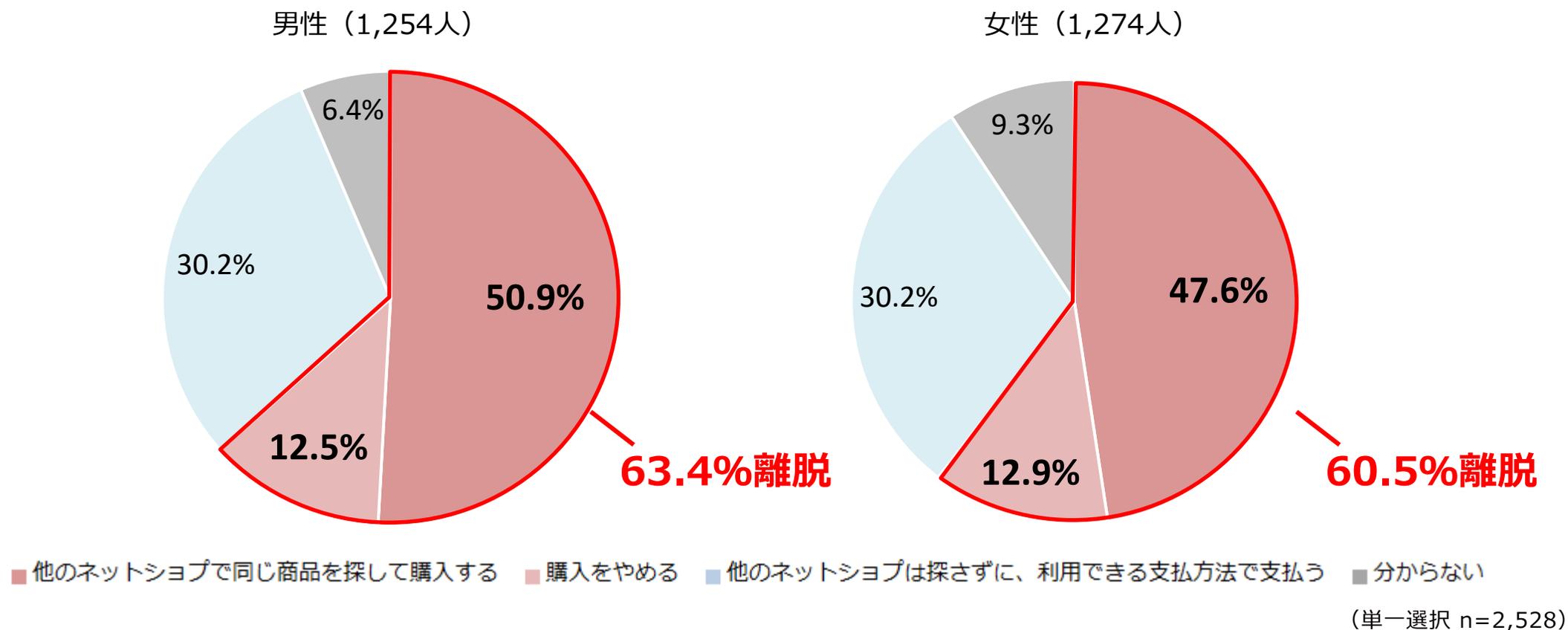


※2021年各内訳 ■ID決済：Yahoo!ウォレット決済 / Amazon Pay / Apple Pay / Google Pay / エポスカんたん決済 / リクルートかんたん支払い ■その他QRコード決済：楽天ペイ（オンライン決済） / au PAY（ネット支払い） / LINE Pay / メルペイネット決済 ■その他：プリペイドカード決済 / 口座振替 / 銀行振込 / 後払い決済 / ペイパル（PayPal） / Tポイントプログラム（オンライン決済） / Pay-easy（ペイジー）決済 / WeChat Pay（オンライン） / ネットマイル決済 / 永久不滅ポイント決済 / 銀聯ネット決済 / Alipay国際決済 / その他決済手段（自由回答）

（単一選択 2018年:n=1,986 / 2020年:n=2,533 / 2021年:n=2,528）

決済手段不足によるサイト離脱率

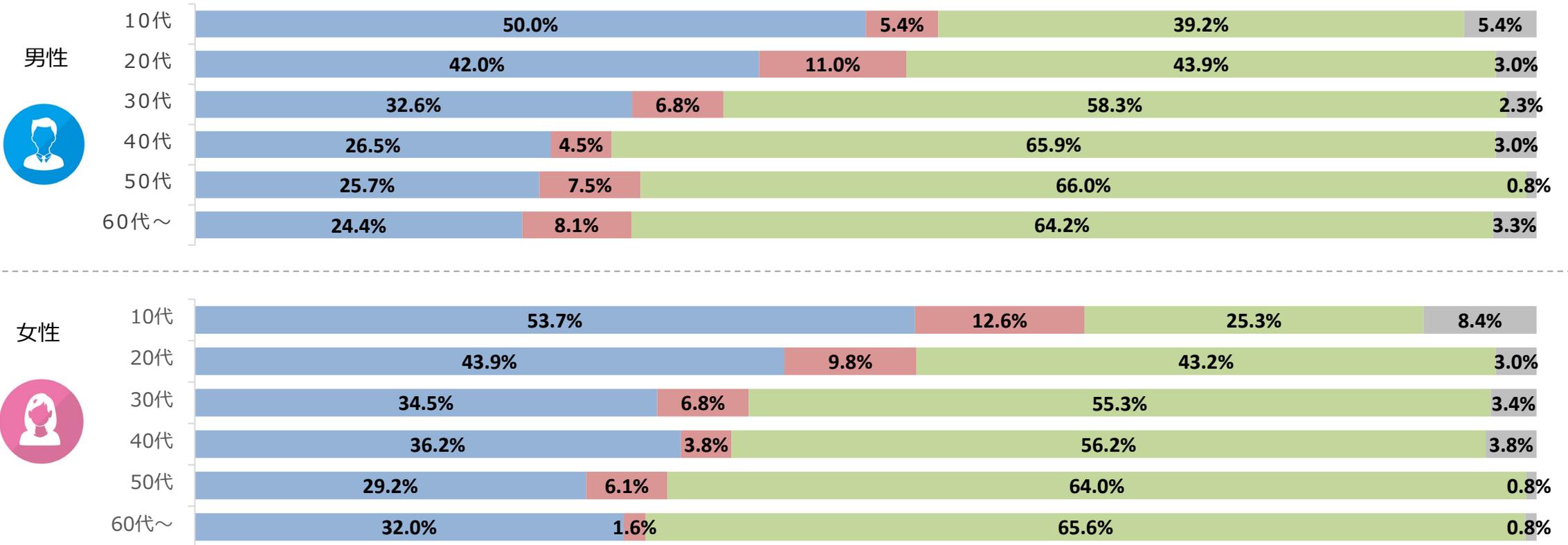
ネットショップで商品を買おうとした際によく利用する決済手段がない場合どうするか、質問したところ男女共に60%以上の人があるネットショップでは購入せず離脱することが分かった。この結果からネットショップにおける決済手段の重要性が分かる。



購入頻度の変化

2020年と比較しネットショップでの物品の購入頻度に変化はありましたか、と質問したところ男女共に10代は**50%以上**、他年代でも**25%以上が増えた**と回答。2021年はまだコロナの影響もあり、**ネットショッピングを利用する人が増えた**ことが想定される。

■ 増えた ■ 減った ■ 変わらない ■ 分からない



(単一選択 n=2,528)

会社概要

会社概要

役員一覧

社名	SBペイメントサービス株式会社
設立年月日	2004年10月1日
資本金	60億7,500万円
株主	ソフトバンク株式会社 100%出資
事業内容	決済サービス、プリペイドカード発行サービス ポイントサービス、集金代行サービス 送金サービス 上記に付随するコンサルティングサービス
従業員数	518人（委託社員含む）
拠点	本社：東京都港区海岸1丁目7番1号 東京ポートシティ竹芝オフィスタワー 大阪：大阪市中央区城見1-2-27 クリスタルタワー7階 福岡：福岡市博多区中洲3-7-24 Gates11F WeWork
関連会社	SBギフト株式会社
各種免許 許認可一覧	前払式支払手段（第三者型）発行者 関東財務局長 第00625号 資金移動業者 関東財務局長 第00017号 電気通信事業者 関東総合通信局長 A-29-16195 クレジットカード番号等取扱契約締結事業者 関東（ク）第7号 電子決済等代行業者 関東財務局長（電代）第15号

代表取締役社長 兼 CEO	榛葉 淳 (ソフトバンク株式会社 代表取締役 副社長執行役員 兼 COO)
代表取締役副社長 兼 COO 兼 CISO	堀田 智宣
常務取締役 兼 CSO	平田 敏昭
取締役 兼 CFO 兼 CCO	沖本 泰朋
取締役	佐々木 一浩 (ソフトバンク株式会社 執行役員)
取締役	藤原 和彦 (ソフトバンク株式会社 取締役 専務執行役員 兼 CFO)
取締役	谷田 智昭 (ヤフー株式会社 執行役員)
常勤監査役	村田 大介
監査役	桃崎 有治
監査役	秋山 修

事業概要

オンライン向けから店舗向けまで幅広いサービスを展開

オンライン決済サービス



事業者さま向けにオンライン決済事業を運営。30ブランド以上の豊富な決済手段をまとめてご提供。ソフトバンクグループの決済処理を行う安定した決済システムをご提供します。

店舗向け決済サービス



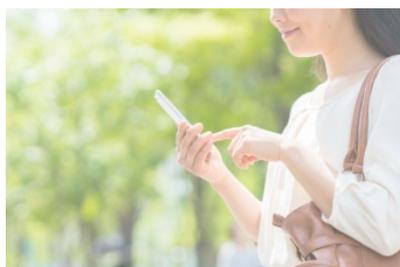
クレジットカード決済専用端末をはじめ電子マネー、コード決済にも対応したマルチ決済端末までニーズに合わせたサービスを提供。

カード加盟店業務



Visa、Mastercard、UnionPay（銀聯）のライセンスを保有しており、各ブランドのアクワイアラーとしての加盟店審査や管理事業、端末決済サービスを提供。

キャリア決済



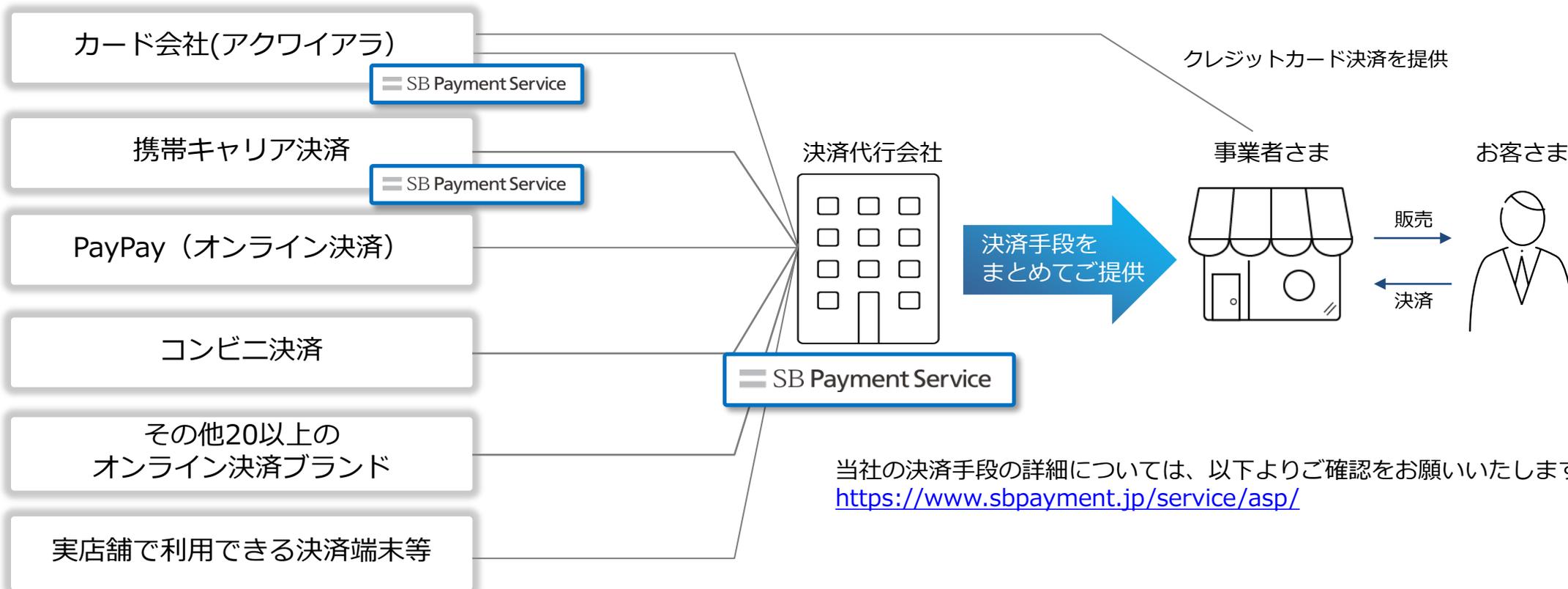
ソフトバンクと共同で、ソフトバンク携帯ユーザー向けの通話料合算請求「ソフトバンクまとめて支払い」の開発・運営。決済機関として他決済代行会社へキャリア決済を提供。

決済業界と当社SBペイメントサービスの役割について

当社SBペイメントサービスは決済代行会社として、クレジットカード決済に始まり多種多様な決済手段を事業者さまへご提供しております。

また、当社はVisa・Mastercard・UnionPay（銀聯）の国際ブランドライセンスを取得しております。そのため、「アクワイアラ」というカード会社の立場として、事業者さまや、当社以外の決済代行会社さまに対してクレジットカード加盟店審査も行っております。

そして、ソフトバンクと共同でソフトバンク携帯ユーザー向けの通話料合算請求「ソフトバンクまとめて支払い」の開発・運営をしており、他の決済代行会社へ携帯キャリア決済も提供しております。



当社の決済手段の詳細については、以下よりご確認をお願いいたします。
<https://www.sbpayment.jp/service/asp/>

SB Payment Service

情報革命で人々を幸せに ～ すべての人と価値をつなぐ ～

Webサイト からのご相談

<https://www.sbpayment.jp/contact/>

お電話 でのご相談（平日10：00－16：00）

03-5776-7008

Thank you